

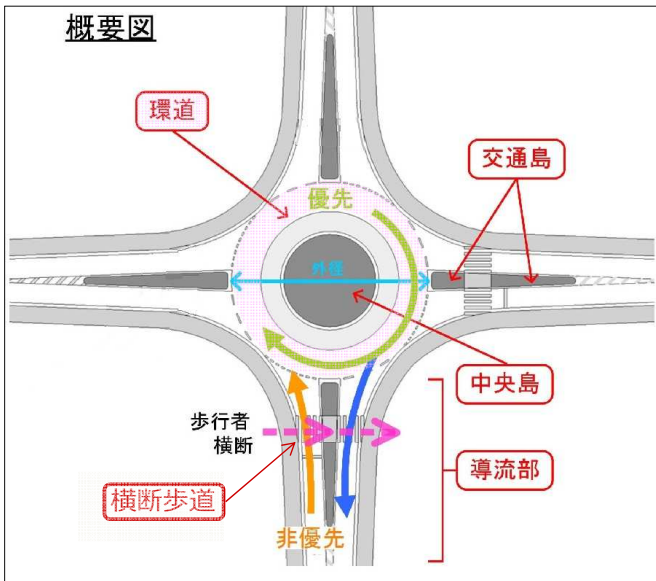


藤守・下小杉環状交差点 (ラウンドアバウト)

市内2箇所目となる

環状交差点(ラウンドアバウト)を導入します

概要図



環状交差点(ラウンドアバウト)通行方法

■環状交差点(ラウンドアバウト)とは？

- ・信号のない、丸い形をした交差点のこと
- ・**環道(かんどう)**といわれる丸い部分を走行する車両が優先されます。
- ・交差点に進入する際は、環道を走行する車両に注意し、左折して、時計回り(右回り)に環道を通ります。

環状交差点を通行する時は？

あらかじめできる限り道路の左端に寄り、徐行して進入してください。環状交差点内は、右回り(時計回り)に通行し、できる限り環状交差点の側端に沿って徐行しなければなりません。



車両の優先関係は？

環状交差点においては、環状交差点内を通行している車両等が優先ですので、交差点内を通行する車両等の進行を妨げてはいけません。



左折

歩行者に注意!



環状交差点に入ろうとするときや、環状交差点内を通行するときは、その環状交差点または直近で道路を横断する歩行者などに特に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければなりません。

環状交差点を出る時は？



出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したとき(環状交差点に入った直後の出口を出る場合には、その環状交差点に入ったときに、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続しなければなりません。

■ラウンドアバウトは徐行が基本

- ・環道(かんどう)に進入する車両は**徐行**
- ・環道(かんどう)を通行する車両は**徐行**
- ・環道(かんどう)から出る車両は**徐行**

〔道路交通法第4条第3項〕
車両の通行の用に供する部分が環状の交差点であつて、道路標識等により車両が当該部分を右回り(時計回り)に通行すべきことが指定されているもの。

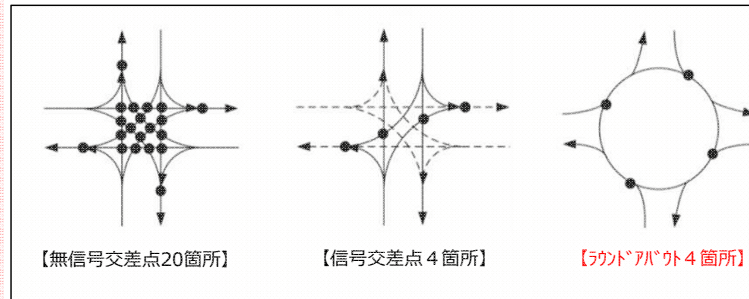
藤守・下小杉環状交差点(ラウンドアバウト)広報紙

お問い合わせ先： 焼津市役所 建設部 道路課
TEL 054-626-2109
E-mail douro@city.yaizu.lg.jp



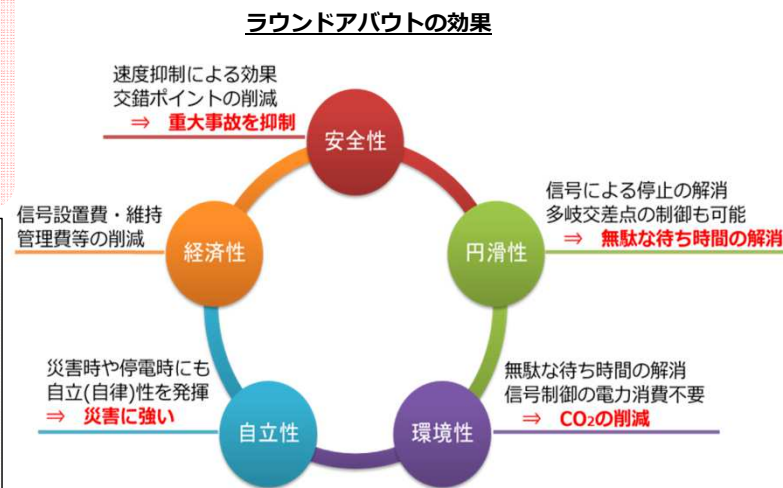
環状交差点（ラウンドアバウト）の効果

交錯ポイントが少なく、出会い頭事故が削減できます。ラウンドアバウトは車両同士が交差点内で交錯するポイントが少ない。（図の●が交錯ポイント）



走行速度が抑制されます。交差点の中央に円形の中央島を設けるため、車両は交差点を直進通行することができません。

導入効果



※図面は、あくまでも素案です。研究会や地元説明会の意見等を踏まえて、今年度詳細設計を進めていきます

停電時でも機能します。災害等による停電時でも、安全で効率的な通行が期待できます。

環境にやさしい交差点。円滑性の向上により、CO₂の削減につながります。

円滑性が向上します。信号による停止の解消で無駄な待ち時間が削減されます。

焼津市ラウンドアバウト研究会

アバウト研究会

市では、平成26年度から、市内交差点におけるラウンドアバウトの導入の可能性について検討するため「ラウンドアバウト研究会」を設置し、山の手環状交差点(関方地内)や、藤守・下小杉交差点への導入について、研究を進めてきました。

平成29年3月16日(木)に、平成28年度第3回研究会を開催しました。

研究会では、藤守・下小杉交差点の基本計画(案)について、議論が行われ、委員やオブザーバーからは、具体的な交差点構造や大型車(トレーラー)の通行対策など、交差点の安全性を向上させるための様々な対策について、意見が出されました。

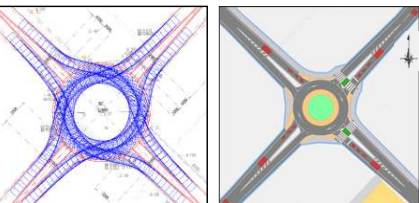
研究会構成メンバーと整備計画

- ・会長 焼津市副市長 名古屋 大学院教授
- ・委員 藤守自治会長 下小杉自治会長 大富第18自治会長 国土交通省職員 静岡県職員 市職員
- ・オブザーバー 国土交通省職員 静岡県警察本部職員 焼津警察署職員 市職員

【整備計画の基本事項】

1. 山の手環状交差点の現状の課題を踏まえた設計とする。
2. 他都市のラウンドアバウト調査結果を参考とする。
3. 地元説明会の意見等を踏まえた計画とする。
4. 交通ルールの周知徹底を図る。
5. 設計指針(ラウンドアバウトマニュアル)により計画を立案する。

焼津市ラウンドアバウト研究会を開催しました



藤守・下小杉地区 地元説明会を開催しました

地元説明会の開催

平成29年2月12日に藤守、下小杉地区にお住まいの方と交差点周辺の地権者を対象にした地元説明会を開催しました。説明会には、29名の方にご出席いただき、ラウンドアバウトの導入経緯や効果、通行方法などを説明しました。出席者の方からは、工事期間中の迂回路対策や通行方法の継続した周知などについて、ご意見をいただきました。今後は、ご意見いただきました参考に詳細設計を進めていきます。

【説明会の様子】



整備予定

- ▼平成29年度 交差点の詳細設計、用地の測量
- ▽平成30年度 用地の取得、交差点の工事
- ★平成31年3月の供用開始を目標に事業を進めていきます。